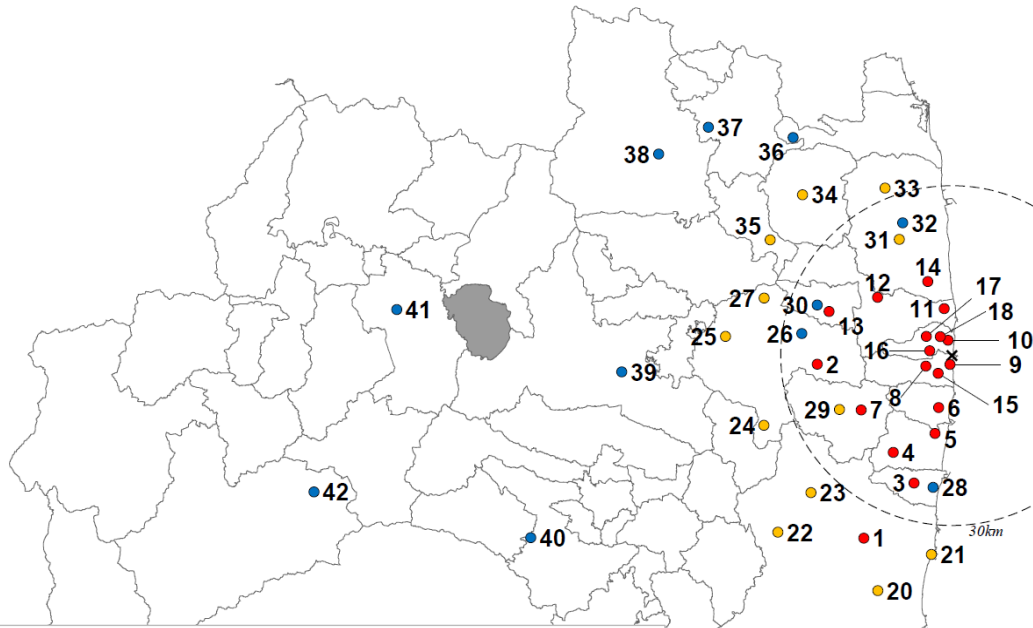


大気浮遊じん環境放射能測定結果

資料5-3



- 連続ダストモニタ/リアルタイムダストモニタ(連続採取、1ヵ月毎測定)
- 簡易型ダストサンプラ(連続採取、1週間毎測定)
- 簡易型ダストサンプラ(1日間/月 採取)

採取場所	セシウム濃度(mBq/m ³)		採取期間			
	セシウム134	セシウム137				
1 いわき市 小川	ND	ND	3月1日 ~ 3月31日			
2 田村市 都路馬洗戸	ND	ND	3月1日 ~ 3月31日			
3 広野町 上浅見川	ND	ND	3月1日 ~ 3月31日			
4 檜葉町 上小埜	ND	ND	3月1日 ~ 3月31日			
5 檜葉町 繁岡	0.13	0.43	3月1日 ~ 3月31日			
6 富岡町 富岡	0.12	0.48	3月1日 ~ 3月31日			
7 川内村 下川内	ND	ND	3月1日 ~ 3月31日			
8 大熊町 大野	0.089	0.32	3月1日 ~ 3月31日			
9 大熊町 夫沢	0.30	1.2	3月1日 ~ 3月31日			
10 双葉町 郡山	0.22	0.80	3月1日 ~ 3月31日			
11 浪江町 幾世橋	平成27年度から運用開始 現在測定中					
12 浪江町 室原	ND	0.15	3月1日 ~ 3月31日			
13 葛尾村 夏湯	ND	ND	3月1日 ~ 3月31日			
14 南相馬市 泉沢	ND	ND	3月1日 ~ 3月31日			
15 大熊町 向畑	平成27年度から運用開始 現在測定中					
16 双葉町 山田						
17 双葉町 上羽鳥						
18 双葉町 新山	平成27年度から運用開始 現在測定中					
19 いわき市 小名浜				ND	0.036	5月20日 ~ 5月27日
20 いわき市 平				ND	0.037	5月20日 ~ 5月27日
21 いわき市 四倉	ND	0.046	5月20日 ~ 5月27日			
22 いわき市 三和	ND	ND	5月20日 ~ 5月27日			
23 いわき市 川前	ND	ND	5月20日 ~ 5月27日			
24 田村市 滝根	ND	ND	5月13日 ~ 5月20日			
25 田村市 船引	ND	ND	5月13日 ~ 5月20日			
26 田村市 岩井沢	ND	ND	4月16日 ~ 4月17日			
27 田村市 上移	ND	ND	5月13日 ~ 5月20日			
28 広野町 下北迫	ND	ND	4月7日 ~ 4月8日			
29 川内村 上川内	ND	0.033	5月13日 ~ 5月20日			
30 葛尾村 落合	ND	ND	4月16日 ~ 4月17日			
31 南相馬市 馬場	0.032	0.12	5月13日 ~ 5月20日			
32 南相馬市 大木戸	ND	ND	4月9日 ~ 4月10日			
33 南相馬市 檀原	ND	0.11	5月13日 ~ 5月20日			
34 飯館村 伊丹沢	0.068	0.21	5月13日 ~ 5月20日			
35 川俣町 山木屋	0.030	0.13	5月13日 ~ 5月20日			
36 相馬市 玉野	ND	ND	4月9日 ~ 4月10日			
37 伊達市 富成	ND	ND	4月9日 ~ 4月10日			
38 福島市 方木田	ND	ND	4月8日 ~ 4月9日			
39 郡山市 麓山	ND	ND	4月13日 ~ 4月14日			
40 白河市 昭和町	ND	ND	4月13日 ~ 4月14日			
41 会津若松市 追手町	ND	ND	4月13日 ~ 4月14日			
42 南会津町 田島	ND	ND	4月13日 ~ 4月14日			

参考

空气中放射性物質 濃度限度	セシウム134	30000 mBq/m ³
	セシウム137	20000 mBq/m ³

大気浮遊じんモニタリング結果の評価について

平成26年度の測定において、現在までの最大値は

セシウム134 1.8 mBq/m³
 セシウム137 5.2 mBq/m³ (双葉町 郡山 5月1日 ~ 31日 採取分) です。

仮に1年間、この空気を吸い続けたと仮定した場合の内部被ばく線量は

0.0019 mSv と計算されます。

この値は、天然の放射性物質を吸い込むことで受ける内部被ばく線量0.48 mSv(※)と比較して100分の1以下という十分に小さい値となっております。

※出典：「新版生活環境放射線（国民線量の算定）」（公益財団法人原子力安全研究協会、平成23年12月）

○計算式

内部被ばく線量 [mSv/年] = 大気浮遊じんの放射性セシウム濃度 [mBq/m³] × 呼吸率 [m³/日] × 365日 × 実効線量係数 [mSv/Bq] ÷ 1000

呼吸率、実効線量係数については、「環境放射線モニタリング指針」（原子力安全委員会、平成20年3月）に基づき、以下の値を用いて計算しています。

- 呼吸率 22.2 m³/日
- 実効線量係数

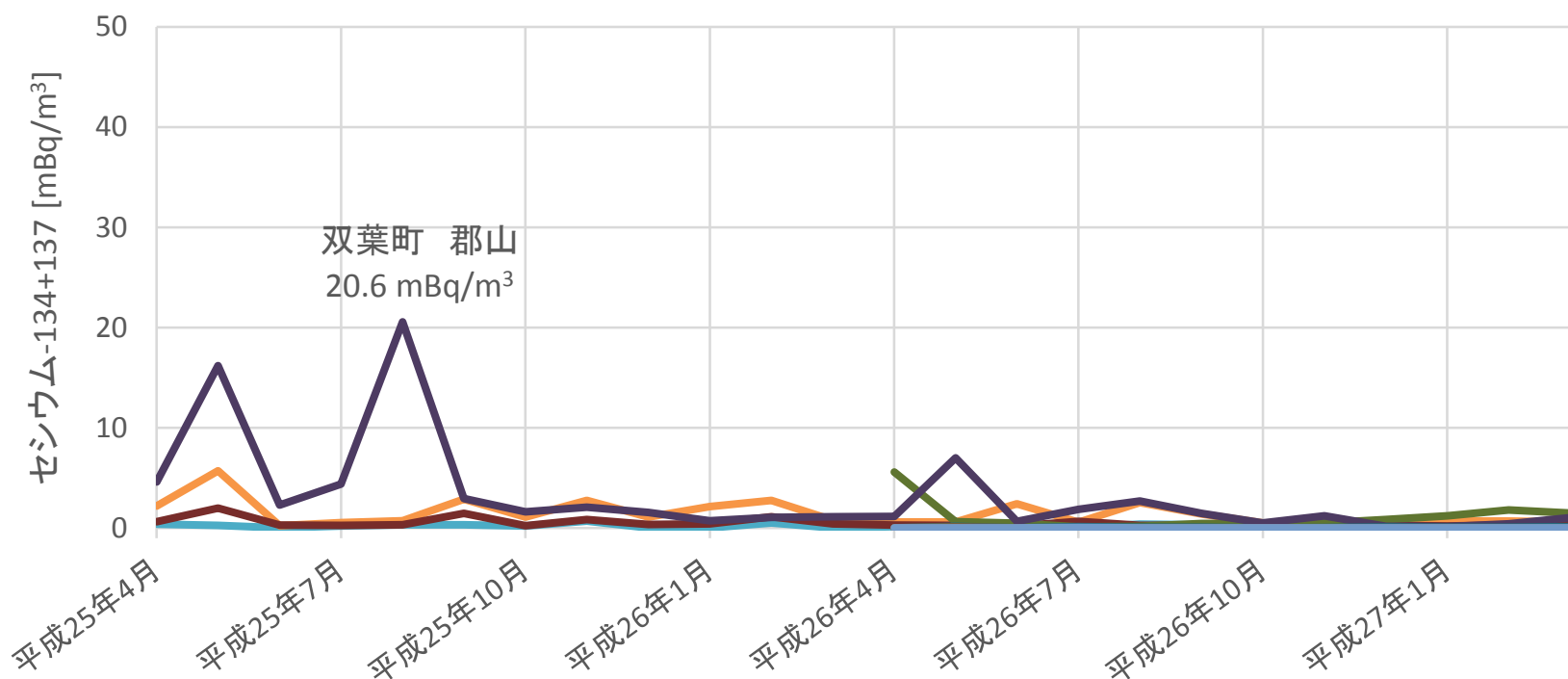
核種	実効線量係数 (mSv/Bq)
セシウム134	0.000020
セシウム137	0.000039

また、大気中の放射性セシウムの指標については、環境省が策定した放射性物質汚染対処特措法で次のとおり示されています

	指標	根拠
廃棄物処理施設周辺の 大気中の濃度限度	セシウム137	30,000 mBq/m ³
	セシウム134	20,000 mBq/m ³
		同一人が0～70歳まで、その濃度の空気を摂取し続けた場合の1年当たりの被ばく量が1mSvに相当する濃度

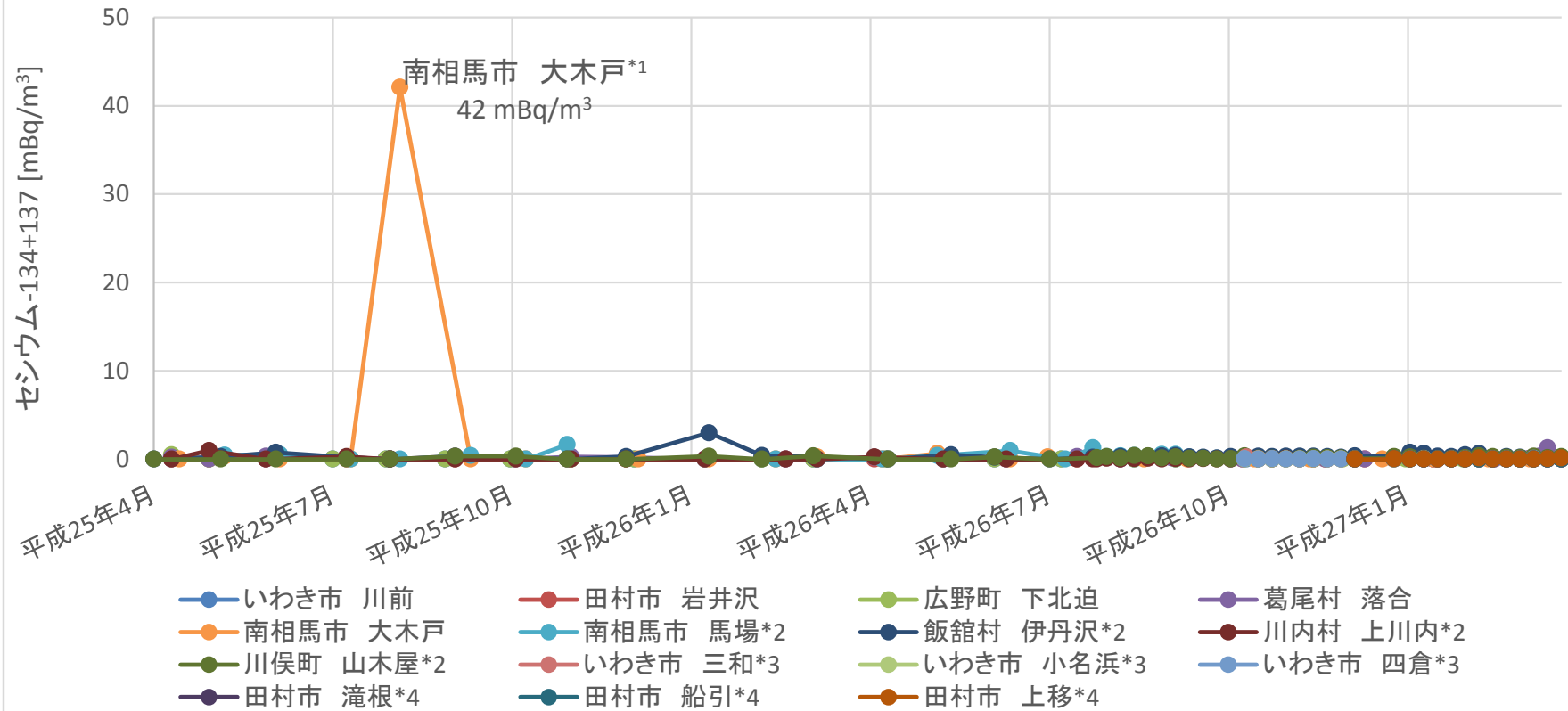
各地点の調査結果については以下のとおりです

連続ダストモニタによる大気浮遊じん中の放射性セシウム濃度測定結果



- いわき市 小川
- 田村市 都路馬洗戸
- 広野町 上浅見川
- 檜葉町 上小埜 (木戸ダム)
- 檜葉町 繁岡
- 富岡町 富岡
- 川内村 下川内
- 大熊町 大野
- 大熊町 夫沢
- 双葉町 郡山
- 浪江町 室原 (大柿ダム)
- 葛尾村 夏湯
- 南相馬市 泉沢

簡易型ダストサンプラーによる大気浮遊じん中の放射性セシウム濃度測定結果



*1 平成25年8月12日 南相馬市大木戸では、グラウンドの砂を吸引したため高い値となった。

*2 平成26年7月30日までは、毎月1回1日間集じん
平成26年7月30日からは、1週間毎の連続集じん

*3 平成26年10月15日から調査開始(1週間毎の連続集じん)

*4 平成26年12月10日から調査開始(1週間毎の連続集じん)